

令和 8 年 2 月 1 8 日

高萩北地区第 6 回学校運営協議会会議録

本高萩北地区第 6 回学校運営協議会の会議結果は、次の通りです。

日 時	令和 8 年 2 月 1 8 日 (水)
場 所	高萩北中学校 会議室
出 席 者	杉山 博行、小泉 敬子、新 晴美、松田 征彦、松田 征彦、湯本 孝一、土屋 礼子、辻本 理沙、林 聖子、内藤 将智、阿部 武晴、川見 毅、初野 聡子、川北 洋、小坂井 啓二
欠 席 者	3 名
傍 聴 者	1 名
審 議 事 項 及び決定事項等	
会 議 資 料	1 レジユメ 2 学校自己評価システムシート 3 高萩北小・中学校便り 4 来年度の学校経営方針 (高萩北小・中学校) 5 文化新聞 (北中生徒の記事)
会 議 の 経 過	1 挨拶 最後に行う予定 2 近況報告 ・小学校 1 年生が 3 人ゴミを拾ってきてくれた。 昼休みはなかよし輝多っ子タイムで仲良く遊んでいた。 6 年生を送る会の準備が進んでいる。 情報教育 ・中学校 新入生保護者会を行った。SNS のトラブルに関する話を行った。 来週 2 6 日、2 7 日に公立高校の入試が始まる。来年度の入試では、全ての高校で面接試験が行われる。 文化新聞の紹介…倒れた高齢女性を救助した。 委員の方々から ・小学生がゴミをもってきてくれたのをみた。褒めていただいた。 ・インフルエンザの発生状況や休みの状況

→高萩北地区は問題なし。

3 協議

(1) 令和7年度学校評価について

小学校

学校運営協議会から

- ・児童を大切に引き続き、指導をして欲しい。
- ・大人が見えない部分で起こるいじめに対応して欲しい。
- ・基礎学力の向上
- ・学習室の新設を有効活用して欲しい。
- ・朝学習等の地道な取組を充実させる。
- ・地域への理解を深めるために、公民館を利用して欲しい。
- ・工事が今月末に終了する予定だが、今後も対応を継続していく。
→登校などに関して、今後もしっかりと考えてく必要がある。
小学生のみ、早めに登校で使用させて頂いている。実際に工事が終わってきから分かる問題もある。
- ・加藤牧場付近の信号が手押しから、手押しではない信号に変わっている。中学生が赤で渡ってしまうことがある。新しい環境に慣れていく必要がある。
- ・公民館の利用について、作品等の展示を積極的に行っていく
- ・基礎学力の向上に向けて、漢字検定や数学検定を目標にして、進めていく。

中学校

学校運営協議会から

- ・基礎学力の定着に関する評価が低い。家庭学習等に関しては、学年ごとに協議をおこなう。
- ・学校だよりの評価が高くなっていった。
- ・地域清掃で良いことがたくさんあった。
- ・学校の中がきれいである。
→清掃活動等についての取組を継続していく。
例) 3年生が1年生に清掃の指導をしていく。
- ・施設分離型の小中一貫教育をどのように進めていくか。
できることを増やしていくことで、波及していくようにしたい。

会長から

学校評価を受けて、来年度に向けて、どのようにPRしていくのか
小学校…リーバー等をしっかりと活用して、告知していくことを考えている。

(2) 令和8年度学校経営方針について

- ・小学校 (校長)

学校経営方針の変更点を中心に話をした。
→地域の方々との取組を充実させるために、予定を早めに決めて
いきたい。

→工事終了後の対策を考えていって欲しい。

・中学校（校長）

学校経営方針の変更点を中心に話をした。

→「熱いぞ北中」に関しては、現状をふまえると合っていないの
で、変更する予定。暖かい学校を目指していきたい。

(3) 地域学校協働活動の今後の取組について

- ・学校運営協議会で決定した目標を実践していくために取り組んで
いく。地域と学校をつなぐ役割をできるようにしたい。
- ・中学校3年生の卒業講話…前教育長が話をしてくれる。
- ・公民館としては、未就学児や小学校の利用が増えていくような取
組をしていきたい。

(4) 北中学校の部活動について

- ・生徒数に応じて、職員数も減るという流れから、部活動の再編を
考えている。
- ・今年度は、コンピューター部、家庭科部の募集停止。
- ・来年度は、サッカー部の募集を停止する予定。
- ・再来年度に関しては、部活動の地域展開の動向も考慮しつつ、部
活動の再編を考えていく。

4 その他

- ・令和9年度 高萩北小学校50周年記念
取組を行うために、実行委員会を組織する。
- ・ようたいきょうの件数が増えてきた。
(ネグレクトやヤングケアラー等)

あいさつ

日高市教育委員会から

- ・学校運営協議会に関する西部地区の取組は素晴らしいと言われ
た。
- ・小中一貫教育とは、カリキュラム作りや日課もそろえること。
- ・分離型では、日課等を統一するのは難しいので、「ふるさと科」を
充実させていく事が大切である。

最後に委員の方々から一言ずつ